

あかるさかおるの スケッチブック No.9

“はて？”^{ひら}で拓く未来”

この春のNHK連続テレビ小説「虎に翼」が面白い！すっかり心奪われ、毎朝ワクワクです。

舞台は昭和初期、日本初の女性弁護士・三淵嘉子さんがモデルの物語。女性の権利が今よりずっと制限され、参政権もなかった時代に、法の道を志す主人公・寅子(伊藤沙莉)と仲間たちの奮闘劇です。

女性は家の外ではスッとして、意見しないことが美德とされる中、寅子は腑に落ちないことに会うと必ず、「はて？」と首をかしげ、疑問をはっきりと口にします。心の引っ掛かりやモヤモヤを黙って飲み込んでしまわずに、「はて？」と切り返す寅子の正当でストレートな言葉は、不当な扱いを受けても言葉に出せなかった無数の人たちの心の叫びを代弁してくれているようで、はっとします。

「合わないお相手と無理にご一緒しなくても…」同級生の言葉に寅子は応えます。「私たち

バックナンバーは、町ホームページでまとめて読むことができます▶



は地獄の道に行く同志よ。考えが違おうが共に学び、共に闘うの。」そう、決して皆が同じである必要はないんですよね。違うことを認めた上で、つながることが出来るかどうか、変化への鍵なのかもしれません。

未来は勝手に進まない。

進めてきた人たちがいる。

(国際女性デー2021、新聞広告)

さまざまな分野で、「はて？」と不条理を飲み込まずに声を上げ、未来を進めてきた先人たちの情熱と苦労に感謝し、私もまた、わずかでも未来を進める一人になりたいと胸を熱くする今日です。

【このコラムを書いている人 】



すがわら さやか
菅原 明香(あかるさかおる)

アライアンス
ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティづくりなどを行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。

